

2021年度 決算資料

2022年5月13日

株式会社 TBS ホールディングス

2021年度 通期決算ハイライト

2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

◇お問い合わせ先

〒107-8006

東京都港区赤坂5丁目3番6号 株式会社TBSホールディングス 財務戦略局 IR推進部

Tel : 03-3746-1111 (代表) HP : <http://www.tbsholdings.co.jp/ir/>

2021年度 通期決算ハイライト

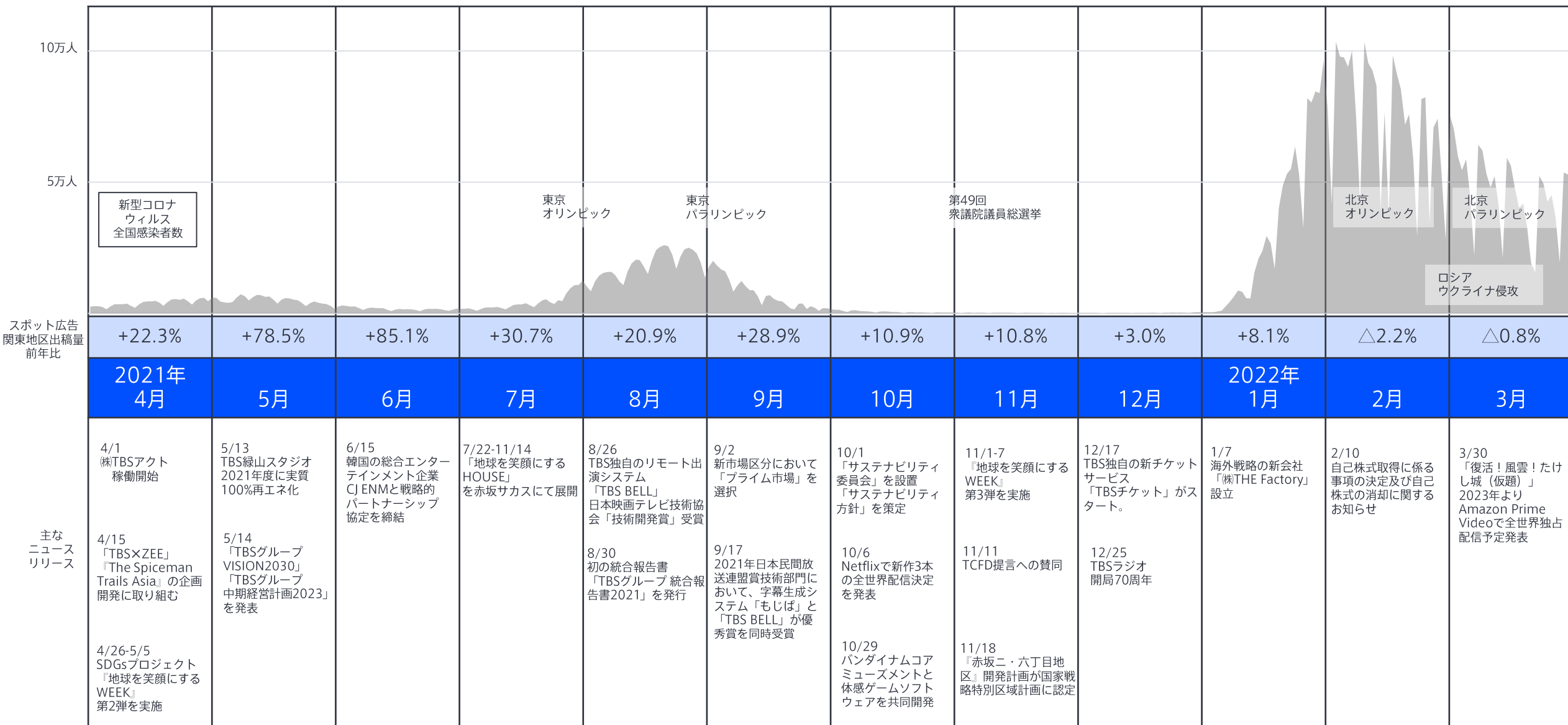
2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

この1年



2021年度決算

- ▶ 連結全体では増収増益。
- ▶ メディア・コンテンツ事業は、スポット広告市況が好調でTBSテレビを中心とした放送関連会社の業績が回復したことに加え、無料・有料動画配信事業も大幅に伸長し、増収増益。
- ▶ ライフスタイル事業も、緊急事態宣言再発出による店舗休業はあったものの、前年の感染症拡大の影響からの反動増や、通販事業の好調維持等により増収増益。

2022年度 業績見通し

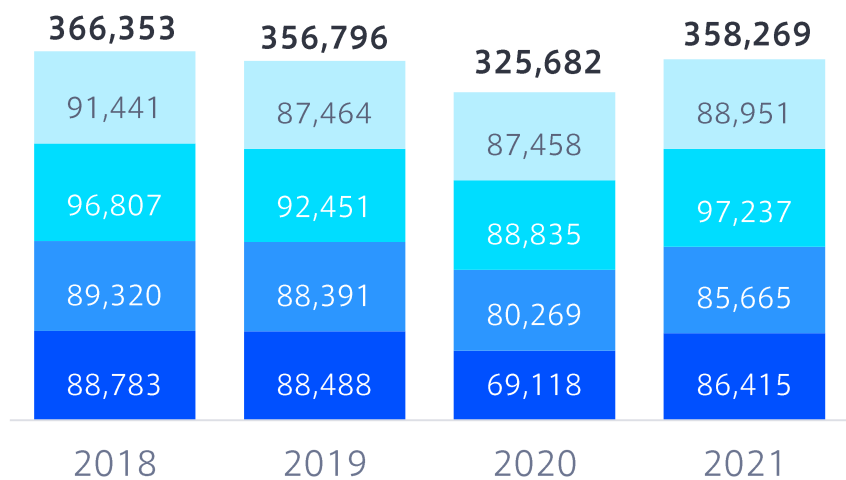
- ▶ 放送関連事業の好調維持、配信事業の伸長、ライフスタイル事業の復調等で、増収かつ経常利益までの増益予想。
- ▶ 「TBSグループ 中期経営計画2023」の定量目標をアップデートし、より高い目標数値達成へ。

メディア・コンテンツ事業では、スポット広告市況が好調に加え、配信事業も大幅に伸長。ライフスタイル事業も、前年の感染症拡大の影響からの反動増となり、連結全体で増収増益。

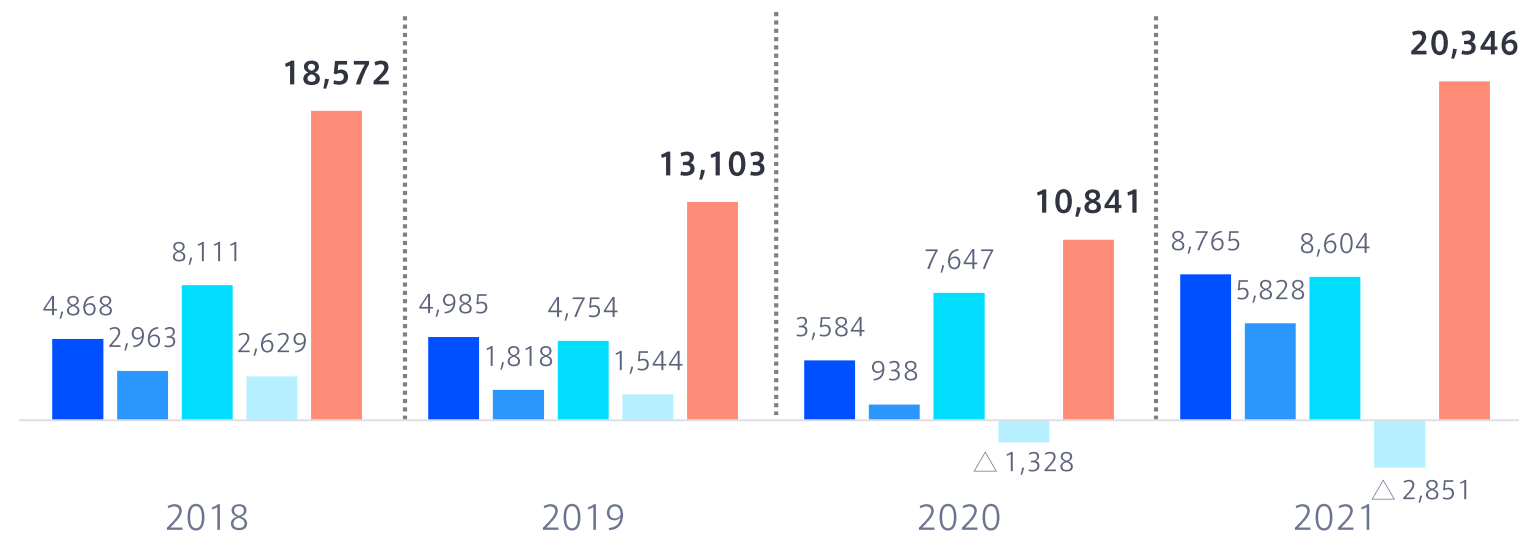
(単位：百万円)

連結	2020年度	2021年度	前年差	増減率
売上高	325,682	358,269	+32,587	+10.0%
営業利益	10,841	20,346	+9,504	+87.7%
経常利益	19,233	30,707	+11,474	+59.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	28,072	32,008	+3,935	+14.0%

売上高 ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



営業利益 ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計



(単位：百万円)

	外部売上				営業利益			
	2020年度	2021年度	前年差	増減率	2020年度	2021年度	前年差	増減率
メディア・コンテンツ	253,778	281,414	+27,635	+10.9%	2,881	10,933	+8,052	+279.5%
ライフスタイル	55,983	61,023	+5,040	+9.0%	281	2,362	+2,081	+740.5%
不動産・その他	15,920	15,831	△88	△0.6%	7,679	7,062	△616	△8.0%
調整額	—	—	—	—	0	△11	△11	—
連結	325,682	358,269	+32,587	+10.0%	10,841	20,346	+9,504	+87.7%

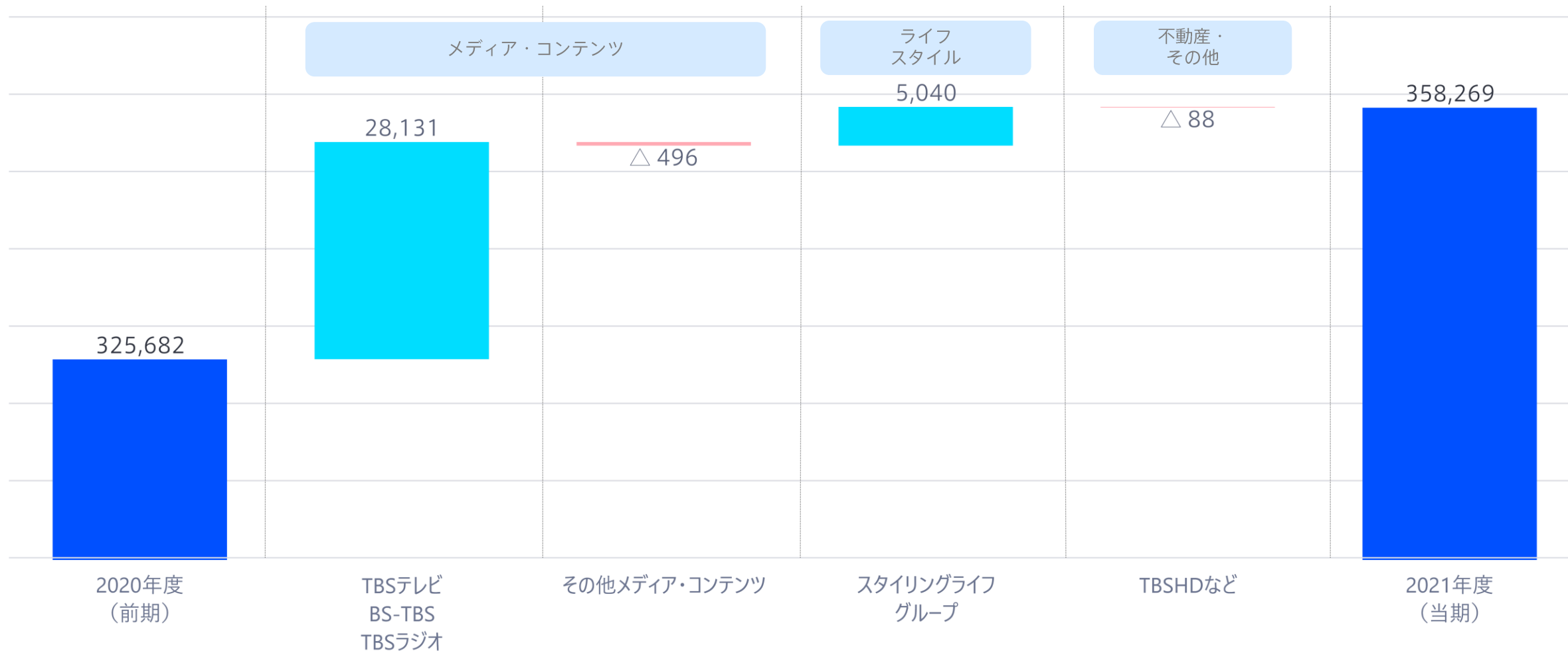
増減要因	外部売上	営業利益
メディア・コンテンツ	TBSテレビ (+26,694) マンガボックス (+2,898) TBSアクト (+1,172) BS-TBS (+1,019) TBSグロウディア (△3,192) 日音 (△1,466)	TBSテレビ (+11,378) TBSアクト (+862) BS-TBS (+838) TBSグロウディア (△1,144) Seven Arcs (△651)
ライフスタイル	スタイリングライフグループ (+5,040)	スタイリングライフグループ (+2,081)
不動産・その他	TBS HD (+73) TBSヘクサ (△136)	TBS HD (△189) TBSテレビ (△202)

連結セグメント別 売上高（外部売上）の増減要因

▶ メディア・コンテンツ事業の放送関連会社が、スポット広告市況好調に加え、配信事業が大幅に伸長したことで増収。ライフスタイル事業も店舗来客数の増加等で回復し、連結全体では大幅増収。

■ 売上実績 ■ 増加分 ■ 減少分

(単位：百万円)

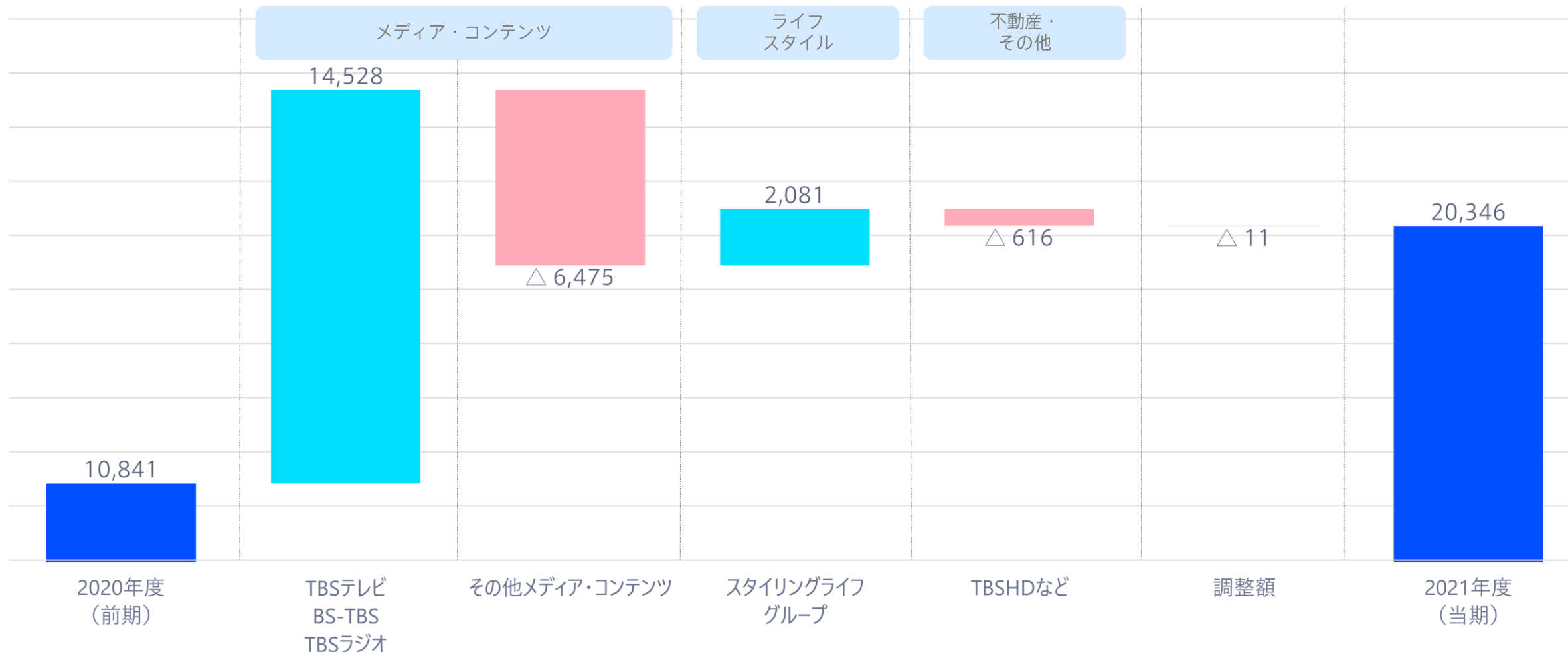


連結セグメント別 営業利益（連結調整後）の増減要因

▶ メディア・コンテンツ事業は、前年好調のショッピング事業の反動減があったが、放送関連会社のスポット収入が好調。ライフスタイル事業も感染症拡大の影響からの反動増となり、連結全体では大幅増益。

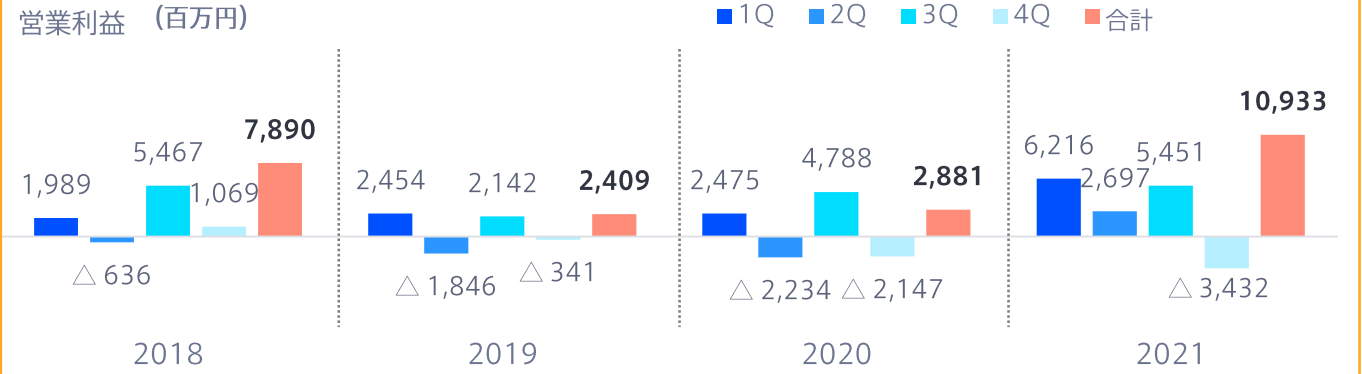
■ 営業利益 ■ 増加分 ■ 減少分

(単位：百万円)

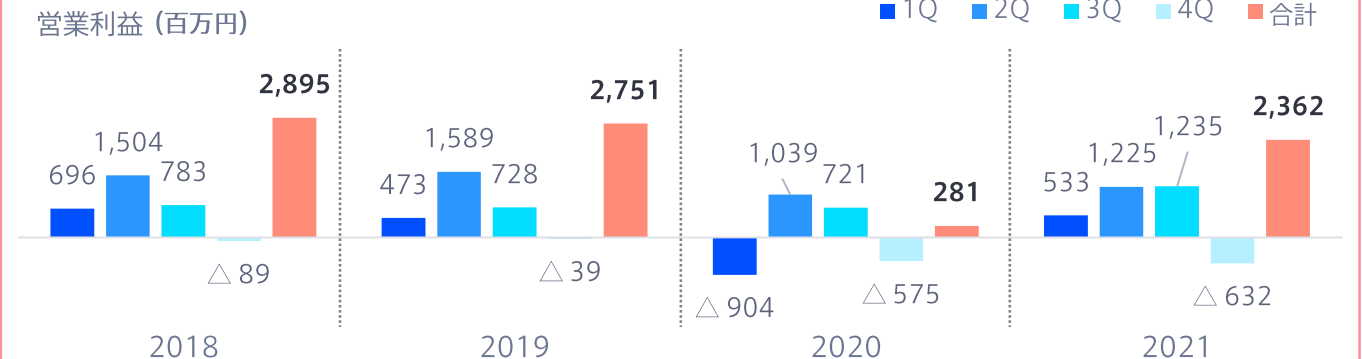
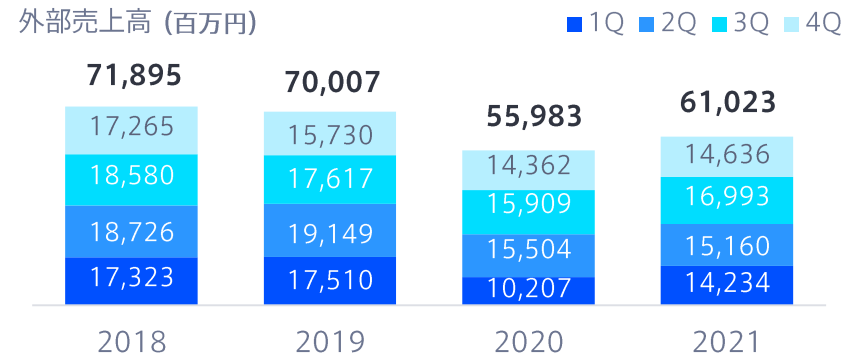


連結セグメント別 経年推移

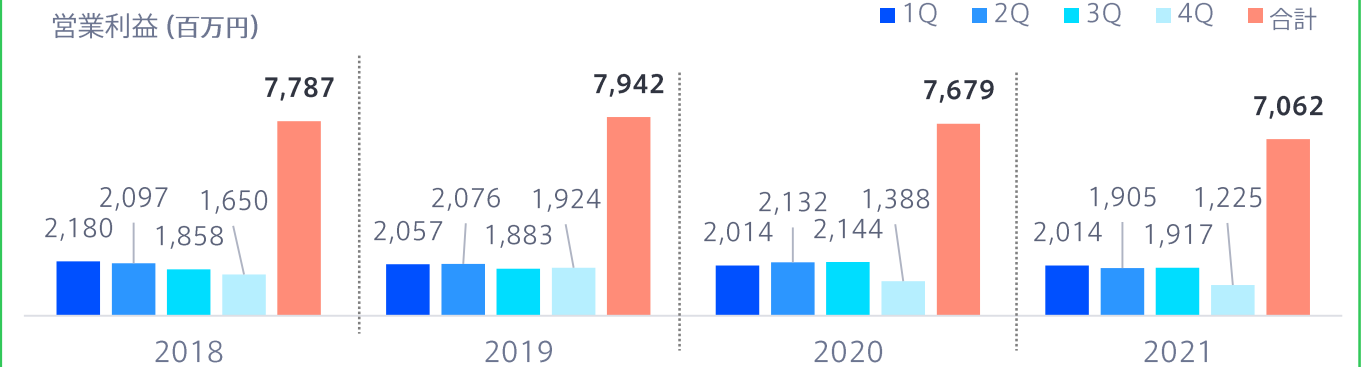
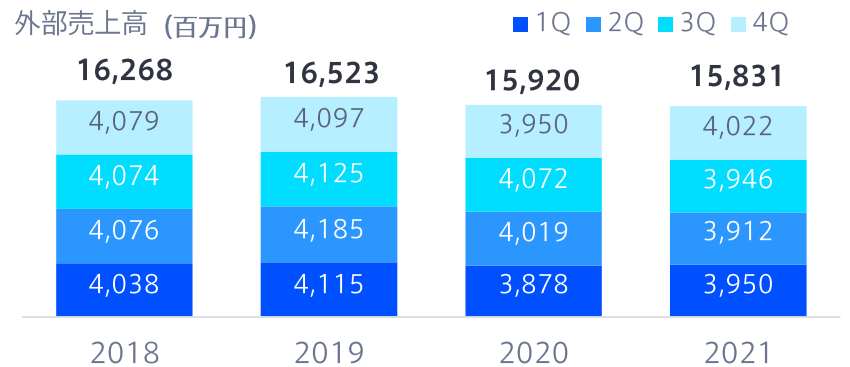
メディア
コンテンツ



ライフ
スタイル



不動産
その他



設備投資と減価償却費

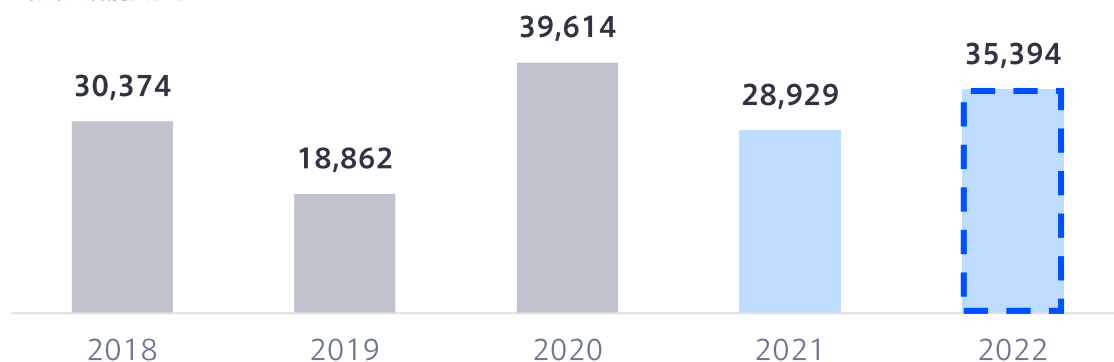
(単位：百万円)

連 結	2021年度	前年差	2022年度 予想
設備投資	28,929	△10,684	35,394
減価償却費	13,348	△623	14,062

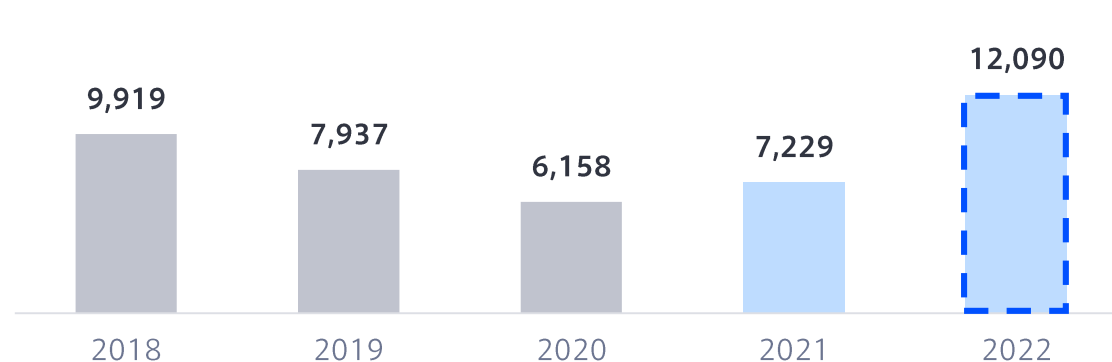
(単位：百万円)

TBSテレビ	2021年度	前年差	2022年度 予想
設備投資	7,229	+1,070	12,090
減価償却費	8,133	△197	8,804

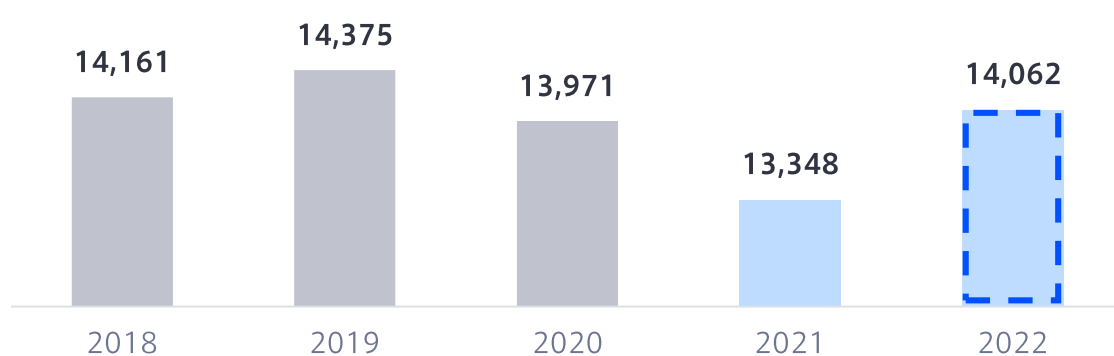
連結設備投資



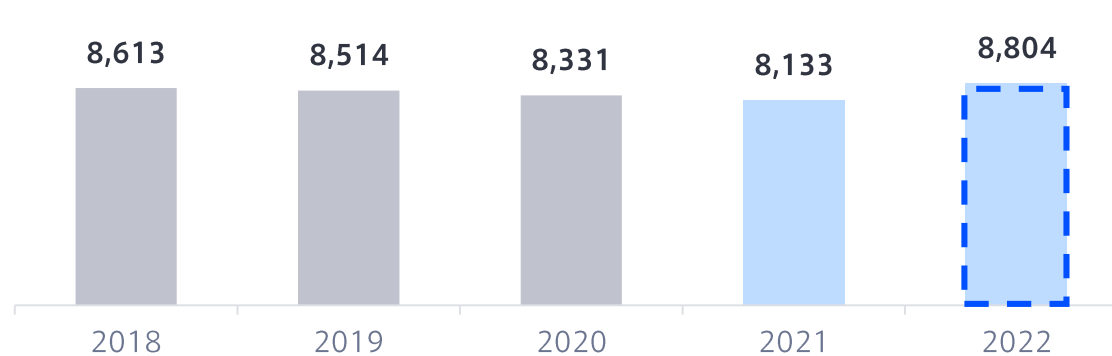
TBSテレビ設備投資



連結減価償却費



TBSテレビ減価償却費



▶ スポット広告市況の好調や配信事業の大幅伸長等により、大幅な増収増益（営業利益、経常利益）。
前年は投資有価証券の売却益が大きく、当期純利益については反動で減益。

(単位：百万円)

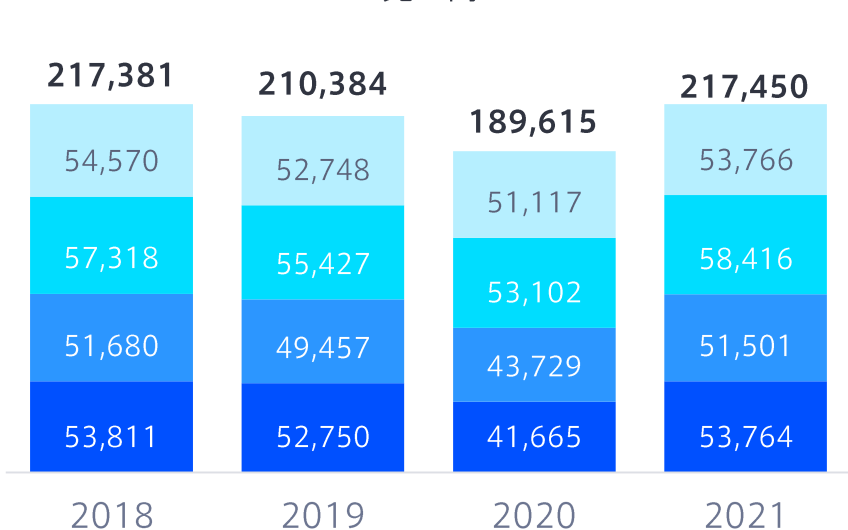
TBSテレビ	2020年度	2021年度	前年差	増減率
売上高	189,615	217,450	+27,835	+14.7%
営業利益	2,449	13,180	+10,731	+438.2%
経常利益	4,736	15,328	+10,591	+223.6%
当期純利益	21,793	16,233	△5,560	△25.5%

営業費用等

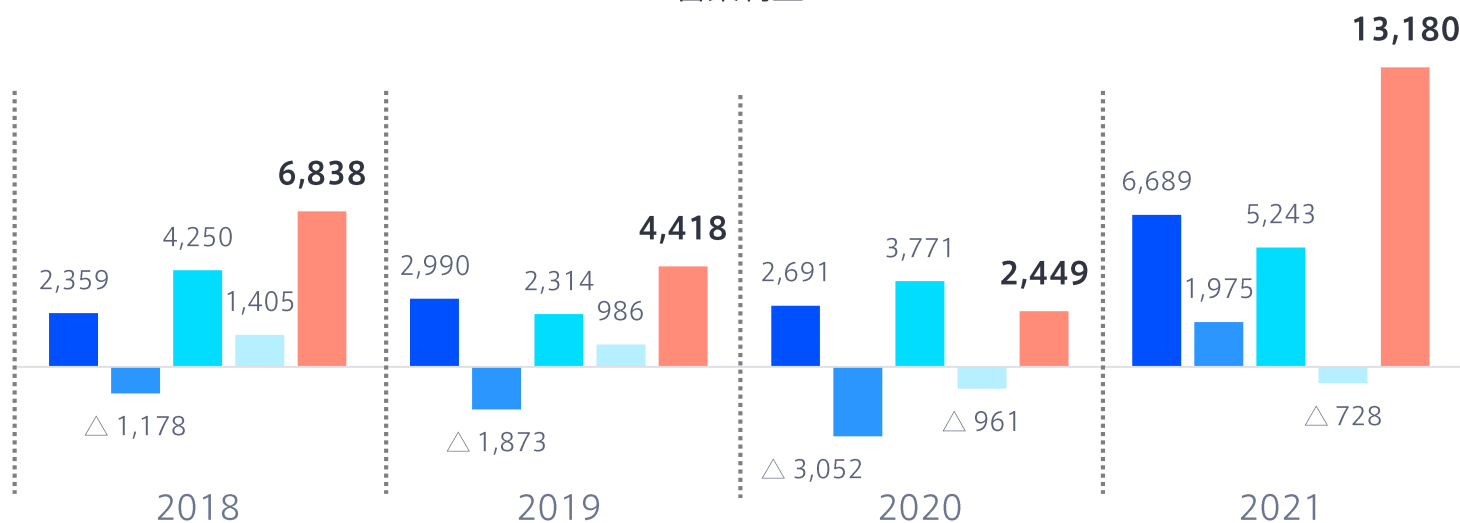
- 番組原価 +7,739
- 代理店手数料 +4,688 (今期31,012)
- NW費 + 285
- 事業部門営業費用 +3,098

特別利益（投資有価証券売却益） 8,859
特別損失（固定資産撤去費、感染症拡大に伴う損失） 312

売上高 ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



営業利益 ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q ■ 合計

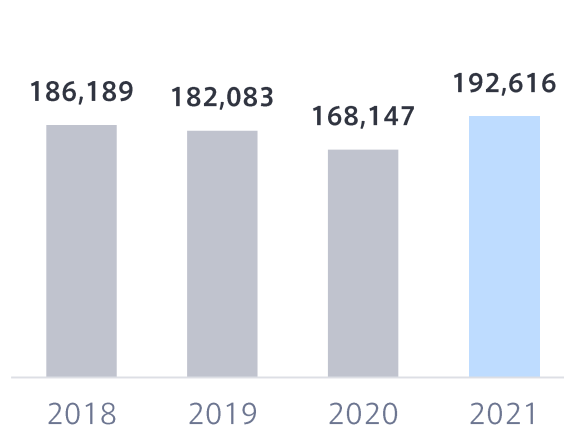


(単位：百万円)

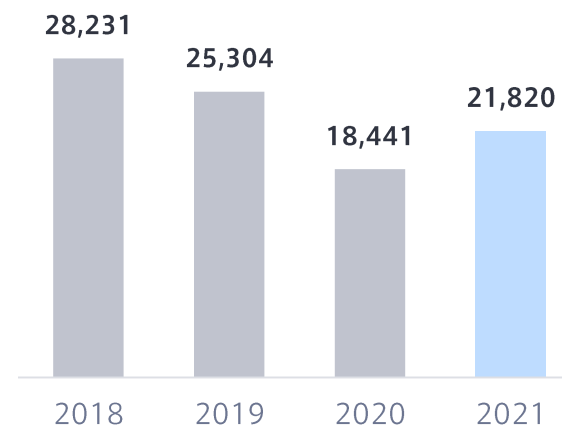
	2021年度	前年差
テレビ事業	192,616	+24,469
(タイム)	81,831	+3,364
(スポット)	84,559	+14,679
(コンテンツ)	20,981	+5,110
(その他)	5,243	+1,314
事業 ※	21,820	+3,378
不動産	3,013	△12
収入合計	217,450	+27,835

※2021年7月より事業部門にあった海外番販事業の一部をコンテンツに移管。

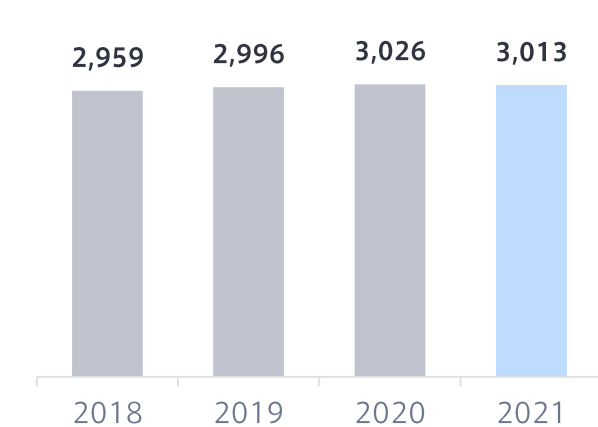
テレビ事業



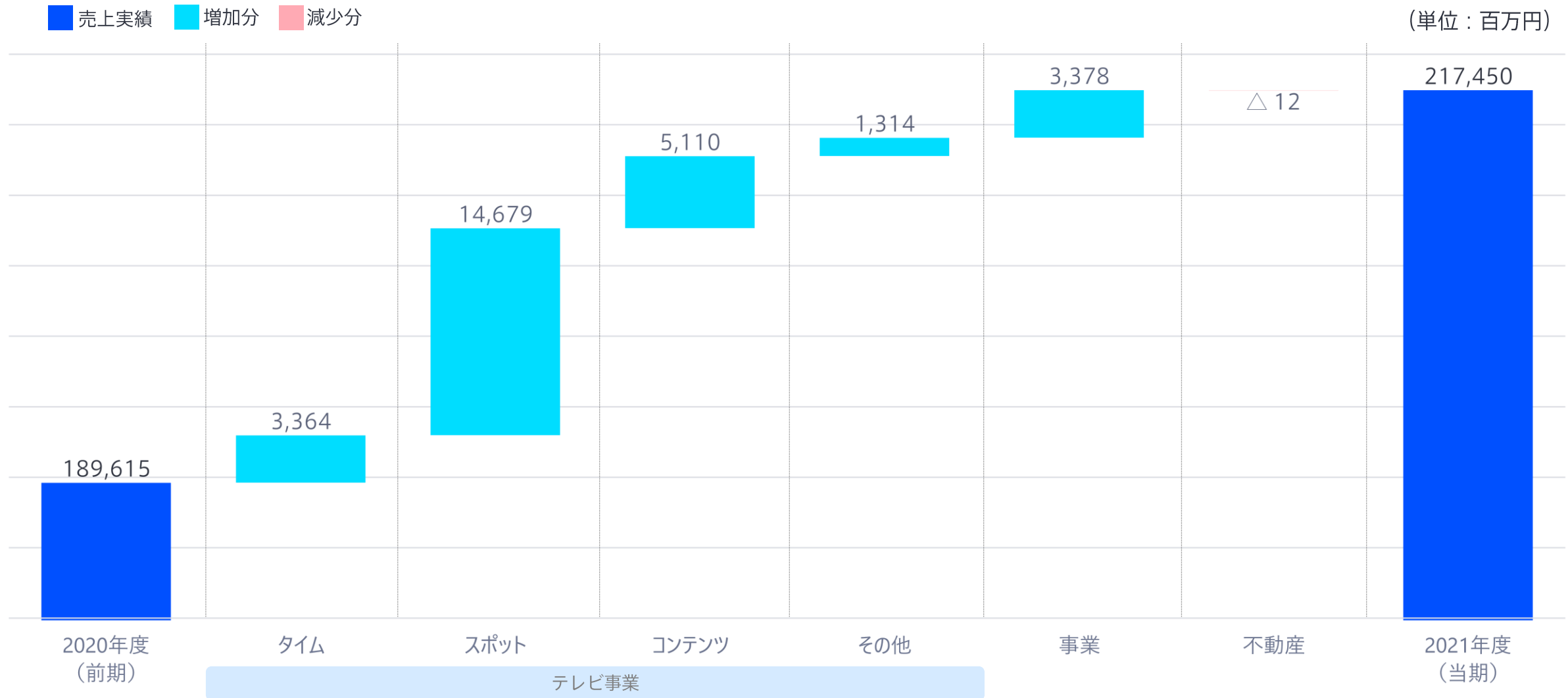
事業



不動産



▶ スポット広告市況の好調や配信事業の大幅な伸長により、大幅な増収。



テレビ番組原価（制作費）

第4四半期は、「北京オリンピック」などで増加。通期累計は、「東京オリンピック・パラリンピック」関連取材体制の縮小の影響等で期首予想（※）より減少。

（※）期首予想 97,415百万円

	2020年度実績	2021年度実績	前年差
第1四半期	17,698	22,631	+4,932
第2四半期	22,806	23,580	+773
第3四半期	23,983	24,769	+785
第4四半期	23,920	25,168	+1,248
(地上波直接費)	19,231	19,937	+705
(その他直接費及び間接費)	4,688	5,231	+543
通期累計	88,410	96,149	+7,739
(地上波直接費)	69,598	75,710	+6,111
(その他直接費及び間接費)	18,811	20,439	+1,627

テレビ番組原価に含まれる主な費用

地上波直接費：
番組制作費、放送権料、美術制作費、技術制作費

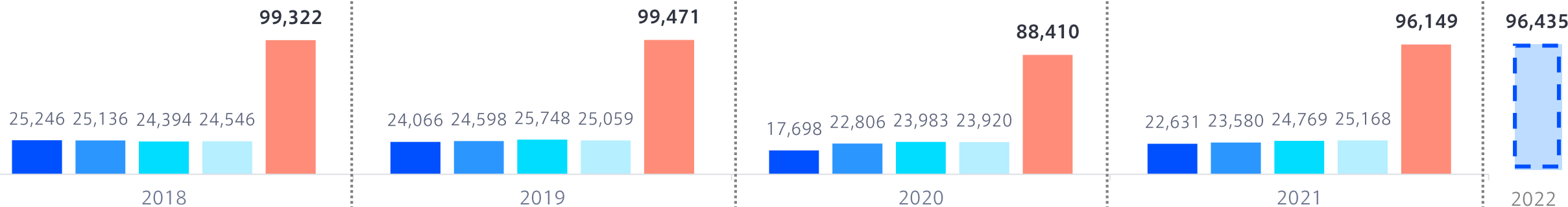
その他直接費および間接費：
地上波以外の直接費、
減価償却費・社員人件費等の配賦原価

2022年度見込み 96,435

地上波直接費： 75,868

その他直接費および間接費： 20,567

(単位：百万円)



▶ 無料・有料配信とも大幅増収。有料配信は、Paraviなど国内配信に加え、海外配信（Netflix、Disney+）が10月よりスタート。

	2021年度 前年増減率
無料配信収入 (TVer・TBS FREE・GYAO!など)	+60.8%
再生回数	+51.7%
ユニークブラウザ数*	+35.8%
有料配信収入	+51.3%

在京5局で
1位

* 端末ごとの重複のないユーザー数

(再生回数、ユニークブラウザ数はビデオリサーチ調べ)



▶ 前年は実施できなかった興行の復調や、映画でヒット作もあり、事業部門全体では増収増益。

(単位：百万円)

部 門	2021年度	前年差	主な増減要因
事業 (催事・興行)	5,496	+2,797	「スタンディングオベーション」や「スターズ・オン・アイス」、 「ゴッホ展」が健闘。
映画	2,042	+808	「99.9-刑事専門弁護士-THE MOVIE」のヒットにより増収。
アニメ	1,333	+743	「五等分の花嫁」や「プラチナエンド」の番販収入が好調。
海外ビジネスセンター (旧：海外事業)	1,928	△317	フォーマット販売は復調傾向だったものの、一部の事業をテレビ部門へ 移管したため減収。 ※2021年7月より海外番販事業の一部をコンテンツに移管
メディア事業	8,817	△288	CS事業はアロケーションの向上などにより好調だったものの、 有料配信事業のテレビ部門への移管により減収。
マーチャンダイジングセンター (旧：ライセンス事業)	2,201	△364	ライブマルチビューイングがオリンピックなどで実績を伸ばしたものの、 前年の巣ごもり需要の反動で減収。
収入計	21,820	+3,378	
事業部門営業費用	17,189	+3,098	
部門利益	4,630	+280	

主なグループ会社の状況

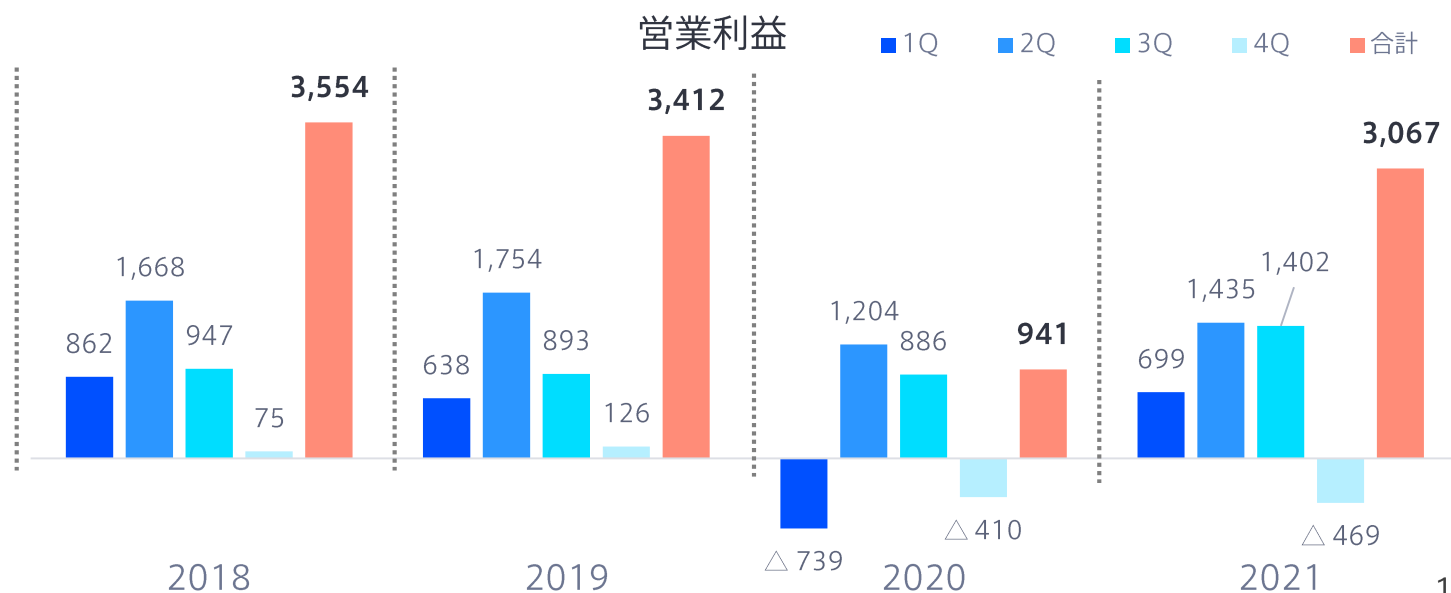
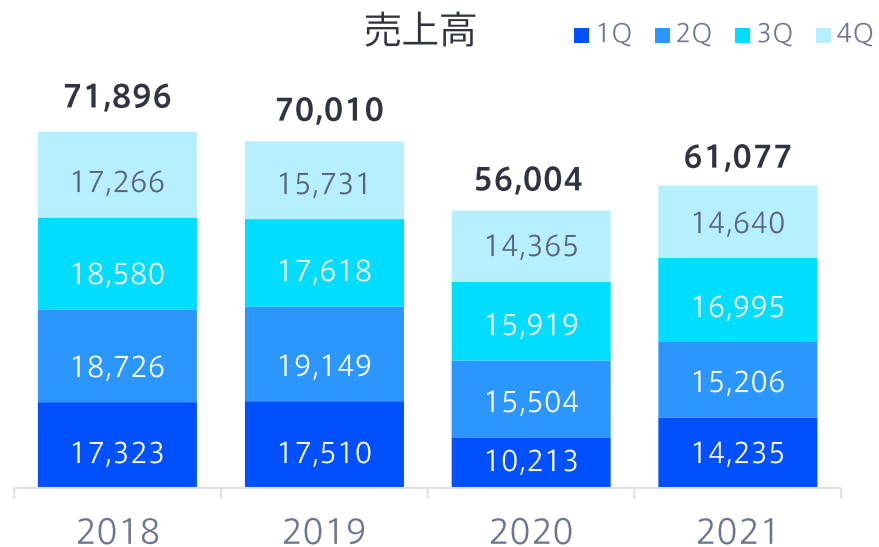
(単位：百万円)

	売上高				営業利益				主な増減要因
	2020年度	2021年度	前年差	2022年度予想	2020年度	2021年度	前年差	2022年度予想	
TBSラジオ	8,492	8,743	+250	8,755	482	601	+119	635	タイム収入好調で増収増益。
BS-TBS	15,374	16,424	+1,049	17,574	1,612	2,450	+838	2,800	スポーツ単発番組の再開やスポットの好調等で増収増益。
TBS グロウディア	32,456	27,539	△4,917	31,966	1,642	497	△1,144	875	前年ショッピングの巣ごもり需要の反動減の影響大きく減収減益。
日音	10,036	8,384	△1,651	9,109	1,114	918	△195	860	前年から洋楽の落ち込みが大きく減収減益。
TCエンタ テインメント	8,361	8,182	△178	6,409	535	494	△40	450	前年のDVDヒットからの反動減で減収減益。

▶ 雑貨小売販売事業は緊急事態宣言再発出による影響があったが、宣言解除後は店舗来客数が増加に転じるなど前年の感染症拡大の影響から回復。通信販売事業は引き続き好調で、増収増益。

連結 (百万円)	2020年度	2021年度	前年差	2022 年度予想	事業別 (百万円)	売上高(※)		
						2020年度	2021年度	前年差
売上高	56,004	61,077	+5,073	63,750	雑貨小売販売事業	27,925	31,218	+3,293
営業利益	941	3,067	+2,126	3,100	通信販売事業	14,977	16,657	+1,680
					ビューティ&ウェルネス事業	13,417	13,541	+124
					本社およびその他	△316	△340	△24
					計	56,004	61,077	+5,073

※事業別の売上高は管理会計上の数値



2021年度 通期決算ハイライト

2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

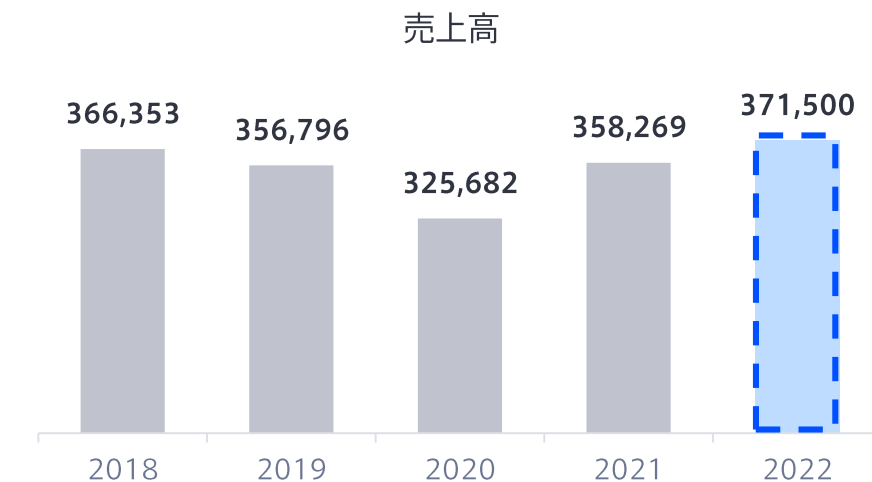
2022年度 連結業績予想

▶ 放送収入や配信収入等の増加で増収増益（営業利益・経常利益）を見込む一方、親会社株主に帰属する当期純利益は前年の投資有価証券売却益の反動減の影響で減益を予想。

(単位：百万円)

連結	2021年度実績	2022年度予想	前年差
売上高	358,269	371,500	+13,230
営業利益	20,346	24,000	+3,653
経常利益	30,707	35,500	+4,792
親会社株主に帰属する当期純利益	32,008	22,900	△9,108

(単位：百万円)



セグメント別予想	売上高			営業利益		
	2021年度実績	2022年度予想	前年差	2021年度実績	2022年度予想	前年差
メディア・コンテンツ	281,414	291,400	+9,985	10,933	14,300	+3,366
ライフスタイル	61,023	63,700	+2,676	2,362	2,400	+37
不動産・その他	15,831	16,400	+568	7,062	7,300	+237
調整額	—	—	—	△11	—	+11
連結	358,269	371,500	+13,230	20,346	24,000	+3,653

2022年度 TBSテレビ業績予想

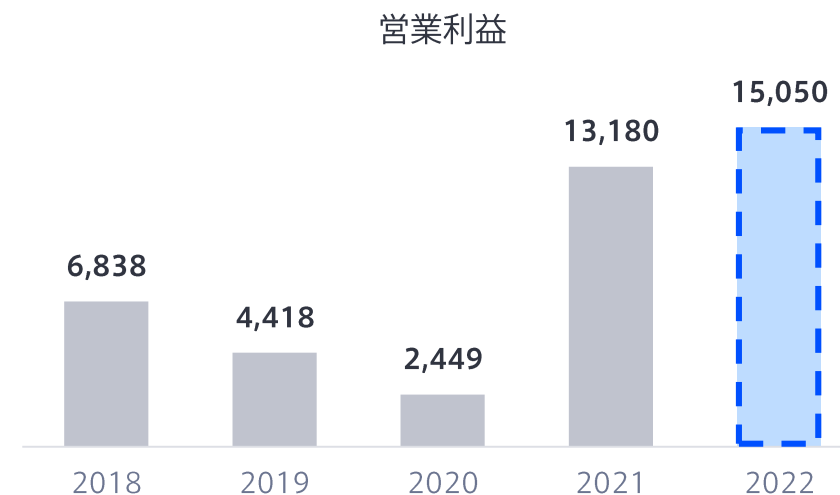
▶ 放送収入や配信収入等の増加で増収増益（営業利益・経常利益）を見込む一方、当期純利益は前年の投資有価証券売却益の反動減の影響で減益を予想。

(単位：百万円)

TBSテレビ	2021年度 実績	2022年度 予想	前年差
売上高	217,450	225,789	+8,339
営業利益	13,180	15,050	+1,870
経常利益	15,328	17,407	+2,079
当期純利益	16,233	11,903	△4,330



	2021年度 実績	2022年度 予想	前年差	前年比
タイム	81,831	81,890	+59	+0.1%
スポット	84,559	86,250	+1,691	+2.0%
番組原価	96,149	96,435	+286	+0.3%



2021年度 通期決算ハイライト

2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点戦略

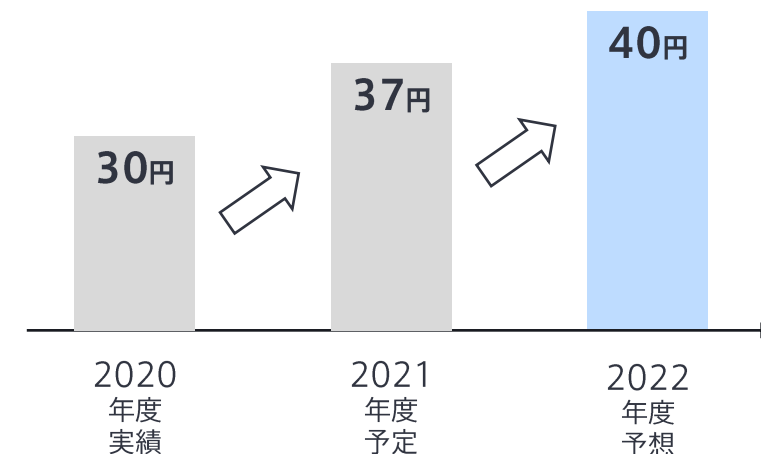
参考資料

基本方針	株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけ、連結ベースの配当性向30%を目処としつつ、安定的かつ継続的な配当を基本とする。業績伸長等の際には、特別配当等により還元の充実に努める。自己株取得は、これまで通り機動的に検討する。
-------------	--

中計2023 配当方針	1株当たり30円を下限とする。ただし、2期連続で当期利益を生まなかった場合は、下限配当金を見直すことがある。
------------------------	--

	1株当たり配当金 (円)			配当性向 (%)	特殊な要因 (★) の影響を除いた配当性向 (%)
	第2四半期末	期末	年間		
2017年度	15	15	30	30.5	30.5
2018年度	16	17	33	22.9	31.7
2019年度	13	17	30	17.3	43.0
2020年度	15	15	30	18.3	59.5
2021年度 (予定)	15	22	37	19.7	30.9
2022年度 (予想)	20	20	40	29.4	—

(★) 中長期の収益拡大を目指す成長領域への投資の源泉として売却した投資有価証券から生じる売却損益は、配当額を決定する上では「特殊な要因」と位置付けております。



▶ 2021年度は7円増配の37円を予定。2022年度は3円増配の40円を予想。引き続き、安定的かつ継続的な配当を実施。

2021年度 通期決算ハイライト

2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

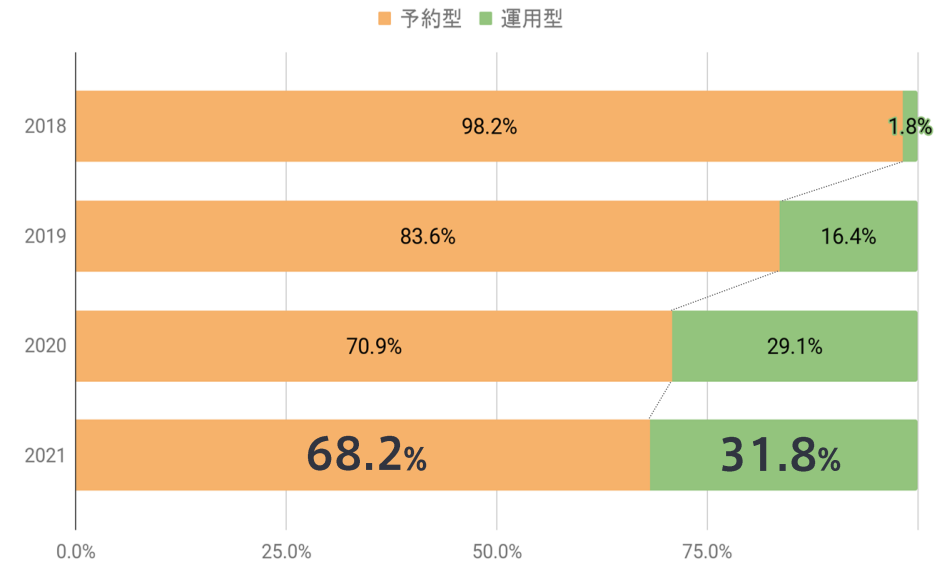
		前年増減率 (年度累計)
●無料配信収入		+60.8%
●再生回数	2021年度累計 6億2千4百万回	+51.7%
●ユニークブラウザ数 (端末ごとの重複のないユーザー数)		+35.8%

在京
5局で
1位

※再生回数、ユニークブラウザ数はビデオリサーチ調べ

今後も、ドラマ、バラエティの両面で、
再生回数、ユニークブラウザ数の**1位**を維持していく。

【参考】予約型と運用型の売上構成比



予約型と運用型で約7：3の比率。
20年度より若干、運用型比率が向上。
セールス効率の最適化に引き続き注力。

TBS系リアルタイム配信

見たい場所で、見たい番組を、いつでも見られる
新しいユーザー体験で、最高の“時”をお届けします！

2022年4月11日（月）よる7時から、
プライムタイムの番組を中心にTVerにて配信開始

セールスに関しては、9月末までトライアルセールス中

●ドラマやバラエティの品揃え強化

→オリジナルストーリーやスピンオフなど番組派生コンテンツで高付加価値化。

●過去の名作ドラマのコンテンツ数を拡大

●4月からの深夜ドラマ枠「ドラマストリーム」を先行配信



第1弾「村井の恋」(現在配信中)



第2弾「理想ノカレシ」(2022年5月末~)

TBS初

地上波放送に先駆けて1週間前に先行配信

地上波放送を見た視聴者がすぐに次のエピソードを有料配信で視聴できる



●Paraviアプリがリニューアル

→サービス開始5年目で初めてのリニューアル

→さらなる使いやすさを求め、新機能を追加。

Paraviが新しくなって
使いやすくなりました!

- パーソナライズレコメンド
- バックグラウンドダウンロード
- ピクチャインピクチャ
- 字幕ガイド



【水曜日のダウンタウン】©TBS、「妻、小学生になる」©村田朝陽/芳文社、©TBS、「復讐の未亡人」©テレビ東京、「ソロ活女子のススメ」©テレビ東京

Netflix

全世界独占配信

「未来日記」

オリジナル恋愛リアリティ企画
2022年5月17日～シーズン2を配信開始



「離婚しようよ」

オリジナルドラマ / 2023年配信開始予定



Amazon Prime Video

全世界独占配信

「復活！風雲！たけし城（仮題）」

視聴者参加型アクション系バラエティ
2023年配信開始予定

復活！
風雲！たけし城
(仮題)

Disney+

世界配信

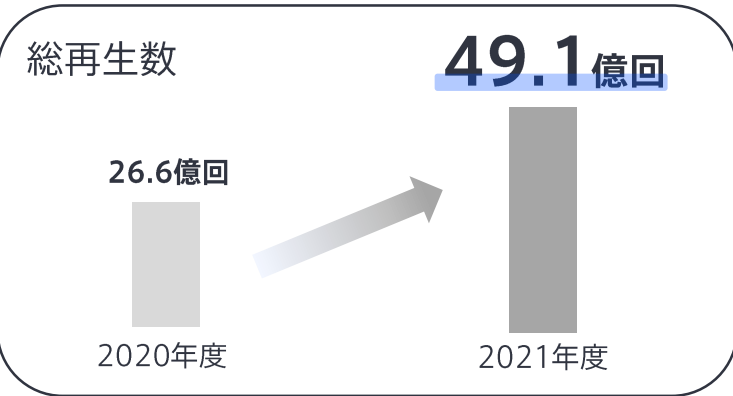
日曜劇場「マイファミリー」

2022年4月～



●ニュース配信事業の拡大

TBS NEWS	前年増減率 (年度累計)
デジタル配信収入	+70%
パートナーPF* 配信PV・再生数	+85%



*パートナーPF
 Yahoo!ニュース、YouTube、Twitter、TikTok、SmartNews、
 グノシー、ニュースパス、auサービスToday、LINE NEWS
 NewsDigest、ニューススイート、@nifty、BIGLOBE、Excite、
 UQライフ、ノアドット、MSNニュース、NewsPicks、dメニュー、
 goo、等(順不同)

●JNNのインターネットニュースプラットフォームの誕生



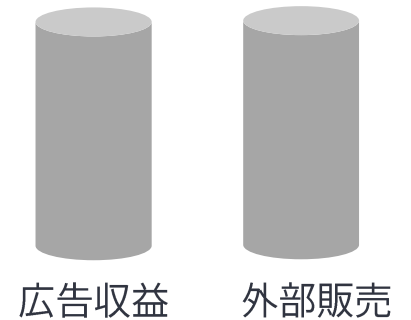
- JNNニュースのネットワークとしてのインターネット最適化
- インターネットニュースとしての価値向上

サイトの特徴

JNN調査報道
 最速レベルの地震速報
 充実の国内外ニュース
 ユニバーサルデザイン



収益の柱



●海外戦略新会社

名称	株式会社 THE Factory
事業内容	コンテンツの企画、製作、配信及び販売
設立年月日	2022年1月7日
株主	株式会社TBSホールディングス 100%

- 本格稼働へ向けた準備を加速中
- 総額300億円規模のコンテンツ制作費
- 地上波とは一線を画した、グローバル市場をターゲットとするハイエンド・コンテンツの企画・開発に特化
- 5年以内に世界的ヒットを2~3本実現

●緑山に新スタジオ建設

- 国際標準のスペックを持つ、国内最大級のスタジオが2023年6月竣工予定 (※)
- 「THE Factory」が手掛けるハイエンド・コンテンツの制作拠点に
- 今後、緑山スタジオ・シティ内にさらなる増設も計画

※発表当初は2023年3月の竣工予定でしたが、資材不足の影響で、2023年6月に変更。



●アニメ事業におけるIP価値最大化への取組み (オリジナルIP 開発とバリューチェーンの構築)

制作機能の強化	アニメビジネスのバリューチェーンの強化
<div data-bbox="147 615 336 796"> </div> <p data-bbox="137 811 346 848">Seven Arcs</p> <ul data-bbox="392 558 1225 948" style="list-style-type: none"> ● 総額25億円の増資を実行。 ● 自社グループ内の制作能力を高めることで、著作権ホルダーやクリエイターなどアニメ界でのTBSのプレゼンス向上。より大きな収益の実現へ。 ● Seven Arcsが制作する作品自体の価値向上と共にTBSアニメのブランディング力も高めていくことで、TBSアニメ作品全体のIP価値を総合的に最大化。 	<div data-bbox="1500 501 2219 819"> </div> <p data-bbox="1327 872 2364 1019">TBS映画・アニメ事業部 (主に国内市場)、THE Factory (海外市場) の企画プロデュース力を軸に、グループのマンガボックス (原作開発)、Seven Arcs (アニメ制作) も活用しながら、ビジネスの上流から下流までのバリューチェーンをTBSグループで構築していく。</p>



総額25億円の増資により、最終的にはTBSオリジナルの連続アニメ作品や国民的な劇場用アニメ映画を制作していく

●今後の主なラインアップ

※2022/5/13現在 感染症拡大の影響や緊急事態宣言、まん延防止等重点措置による要請等で変更の可能性があることをお含みください。

	期間	タイトル	備考
映画	2022年公開	「ラーゲリより愛を込めて」	配給：東宝
	2023年公開	「劇場版TOKYO MER ~走る緊急救命室~」	
興行	2022/3/20-5/8	ミュージカル「メリー・ポピンズ」	東急シアターオーブ
	2022/5/17-6/24	ミュージカル「るろうに剣心 京都編」	IHIステージアラウンド東京
	2022/6/1-5	Kバレエ「カルメン」	Bunkamura オーチャードホール
	2022/7/8-	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」	TBS赤坂ACTシアター
	2022/7/25-8/10	ミュージカル「BE MORE CHILL (ビー・モア・チル)」	新国立劇場 中劇場
	2022/8/11-28	ブロードウェイミュージカル「コーラスライン」	Bunkamura オーチャードホール
	2022/7/23-8/28	DINO-A-LIVE PREMIUM TIME DIVER 夏休みスペシャル	IHIステージアラウンド東京
	2022/12	ブロードウェイミュージカル「シカゴ」	東京国際フォーラム・ホールC
催事	2022/2/19-6/19	特別展「宝石 地球がうみだすキセキ」	国立科学博物館
	2022/7/16-9/25	「動く、ミュシャ展『iMUCHA IMMERSIVE EXHIBITION』」	パシフィコ横浜

●チケット販売システムを新しく構築

(名称「TBSチケット」)

- ①舞台、イベントの公演チケット
- ②ライブ動画配信 (アーカイブ含む) チケット+視聴プラットフォーム
- ③公演グッズ販売 (予定)

をワンストップでオンライン販売

2021年12月にスタートし、

会員数14万人を突破

(2022年5月現在)

チケット販売システム
内製化による
原価率の改善へ

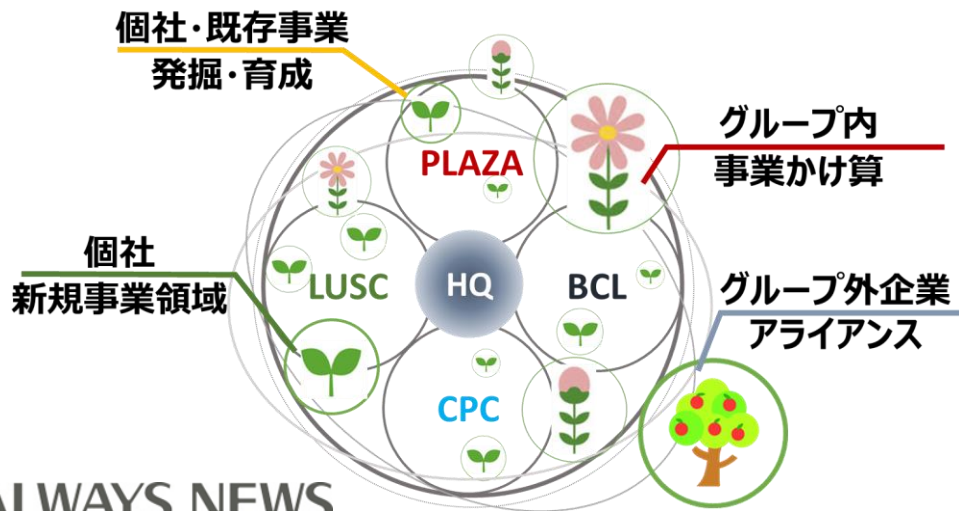
VISION2030

推進プロジェクト始動

現事業の成長に加え、新たな事業領域に挑戦する

SLHグループ未来デザイン

衣・食・住 + 美 Beauty&Wellness



中国で合併会社を設立

中国での「知的財産」「製造販売権」を管理

碧芯珞(上海)化粧品有限公司
BCL China Inc.



上海・北京など1級都市を中心に約500店舗に展開

「高効率のオンライン販路」「日系主力店舗販路」



出店情報

PLAZASTYLE

PLAZAアトレ松戸店
4月8日（金）OPEN

【店舗概要】

- ・所在地 : 千葉県松戸市松戸1181 アトレ松戸4F
- ・店舗面積 : 95.3坪



PLAZAペリエ稲毛店
6月下旬（OPEN予定）

【店舗概要】

- ・所在地 : 千葉県千葉市稲毛区稲毛東3-19-11
- ・店舗面積 : 58.2坪



民放テレビ番組で初めて 「アルバート認証」を取得

2022.4.13

BS-TBSで放送中の番組「Style2030 賢者が映す未来」(2022年3月20日放送回)が、イギリスの団体「アルバート」がCO2排出削減などの面で「Sustainable Production」と認めた番組に与える「アルバート認証」の「2つ星」を取得。認証の取得は日本の民放の番組では初。



「アルバート認証」とは

イギリスのBBCが立ち上げた業界コンソーシアム「アルバート」が管理運営する認証制度。番組制作の過程で出るCO2やゴミの量を数値化し、削減の貢献度から3段階の認証を与える。

SDGsの取り組み



2022.5.2-8

TBSテレビ・TBSラジオ・BS-TBSなどでSDGsキャンペーン 『地球を笑顔にするWEEK』 第4弾を実施



多くの企業がパートナーとして参画



5/3-5 赤坂のSacas広場にて
イベントを開催

2021年度 通期決算ハイライト

2022年度 業績見通し

株主還元

今後の重点施策

参考資料

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2021年 3月末	2022年 3月末	前年差		2021年 3月末	2022年 3月末	前年差
流動 資産	190,053	198,692	+8,639	流動 負債	86,176	75,592	△10,584
				固定 負債	219,162	243,037	+23,875
				負債 合計	305,338	318,629	+13,291
固定 資産	910,170	1,002,939	+92,768	純資産 合計	794,884	883,002	+88,117
				自己 資本	781,373	868,455	+87,081
				非支配 株主持分	13,511	14,547	+1,036
資産 合計	1,100,223	1,201,632	+101,408	負債 純資産 合計	1,100,223	1,201,632	+101,408

期末有利子負債残高： 260億円 (前期末比 △16億円)

※リース債務は除く

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前年差
営業活動による キャッシュ・フロー	22,713	△2,853	△25,566
投資活動による キャッシュ・フロー	△8,618	△8,154	+464
財務活動による キャッシュ・フロー	16,898	△8,164	△25,062
現金及び現金同等物の 増減額	31,002	△17,354	△48,356
現金及び現金同等物の 期首残高	85,059	116,061	+31,002
現金及び現金同等物の 期末残高	116,061	98,707	△17,354

新ファミリーコア視聴率 (4~49歳)

(※ []内は前年同期差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	③1.7 [△0.2]	③3.4 [△0.5]	③3.3 [△0.6]	③1.2 [△0.1]
日本テレビ	①3.2	①5.5	①5.2	①2.6
テレビ朝日	④1.6	④2.9	④3.0	③1.2
テレビ東京	⑥0.6	⑥1.7	⑥1.6	⑥0.4
フジテレビ	②2.1	②3.9	②3.7	②1.6
NHK	⑤0.9	⑤2.2	⑤1.9	⑤0.7
PUT	11.3 [△1.5]	21.2 [△2.5]	20.2 [△2.4]	8.8 [△1.2]

(2021/3/29 ~ 2022/4/3 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

(※ []内は前年同期差 単位：%)

	全日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	④ 3.0 [△0.4]	④ 4.6 [△0.6]	④ 4.5 [△0.6]	④ 2.6 [△0.3]
日本テレビ	①4.0	②6.2	①5.8	①3.5
テレビ朝日	②3.8	③5.8	①5.8	②3.3
テレビ東京	⑥1.4	⑥3.5	⑥3.1	⑥0.9
フジテレビ	⑤2.9	⑤4.5	⑤4.4	⑤2.5
NHK	③3.4	①6.4	③5.5	③2.8
PUT	21.8 [△1.5]	35.8 [△2.3]	33.6 [△2.3]	18.4 [△1.3]

(2021/3/29 ~ 2022/4/3 : 週ベース)

(ビデオリサーチ調べ : 関東地区)

TBSテレビ タイム・スポット収入 対前年比

TBS

(単位：百万円)

	タイム			スポット				備考
	2021年度	前年差	増減率	2021年度	前年差	増減率	地区投下 (推計)	
4月	7,230	+1,032	+16.7%	7,164	+1,195	+20.0%	+22.3%	タイム前年比プラス要因は、「マスターズ」の反動増など
5月	6,727	+10	+0.2%	7,471	+3,310	+79.5%	+78.5%	
6月	6,320	+269	+4.4%	7,229	+3,229	+80.7%	+85.1%	
7月	7,896	+1,428	+22.1%	6,400	+1,796	+39.0%	+30.7%	東京オリンピック・パラリンピック
8月	8,130	+1,552	+23.6%	5,005	+858	+20.7%	+20.9%	東京オリンピック・パラリンピック
9月	5,903	△418	△6.6%	6,318	+1,180	+23.0%	+28.9%	タイム前年比マイナス要因は、「お笑いの日」の反動減など
10月	6,770	+30	+0.5%	7,307	+876	+13.6%	+10.9%	
11月	6,842	△750	△9.9%	7,681	+935	+13.9%	+10.8%	タイム前年比マイナス要因は、「マスターズ」の反動減など
12月	6,961	+167	+2.5%	7,883	+227	+3.0%	+3.0%	
1月	7,013	△217	△3.0%	6,972	+834	+13.6%	+8.1%	
2月	6,071	+583	+10.6%	6,119	△77	△1.2%	△2.2%	タイム前年比プラス要因は、「北京オリンピック」など
3月	5,963	△323	△5.1%	9,005	+311	+3.6%	△0.8%	
1Q	20,277	+1,312	+6.9%	21,866	+7,735	+54.7%	+55.8%	
2Q	21,930	+2,562	+13.2%	17,723	+3,835	+27.6%	+27.1%	
3Q	20,573	△552	△2.6%	22,872	+2,039	+9.8%	+7.9%	
4Q	19,049	+42	+0.2%	22,096	+1,068	+5.1%	+1.6%	
通期	81,831	+3,364	+4.3%	84,559	+14,679	+21.0%	+19.0%	

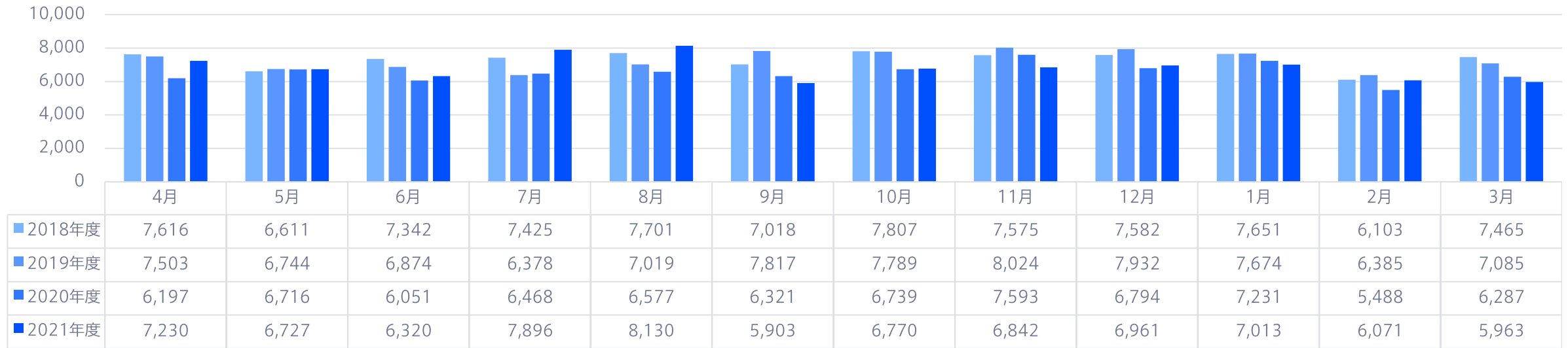
●スポット5局シェア（推計） 四半期推移

2018年度 19.1% (累計)				2019年度 19.3% (累計)				2020年度 19.7% (累計)				2021年度 20.1% (累計)			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
19.3%	19.2%	18.7%	19.1%	20.2%	19.2%	19.1%	18.9%	20.5%	20.2%	19.4%	19.3%	20.4%	20.3%	19.7%	20.0%

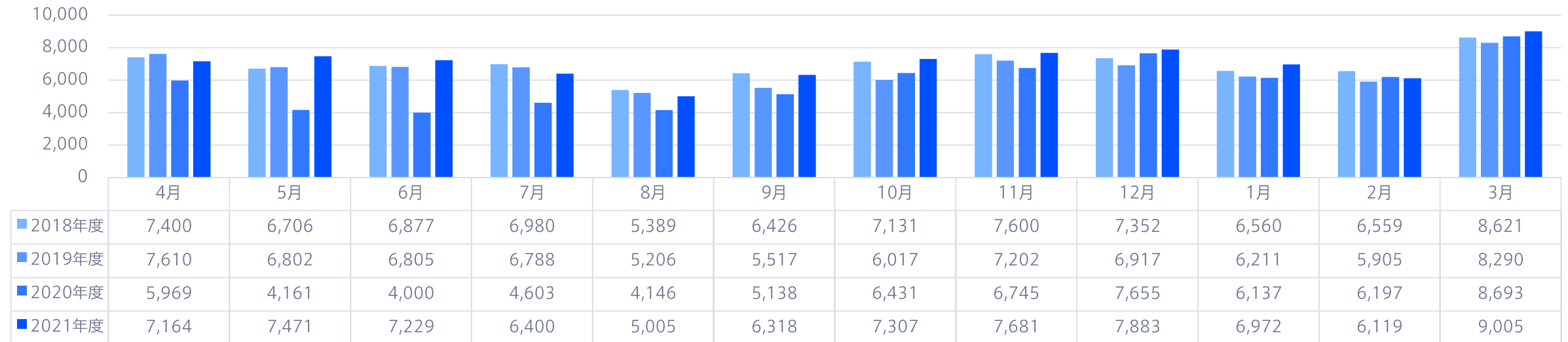
TBSテレビ タイム・スポット収入 経年推移

(単位：百万円)

●タイム収入



●スポット収入



(単位：%)

	22年3月期	増減率	シェア	21年3月期	増減率	シェア
1	情報・通信・放送	+37.2	20.2	情報・通信・放送	+4.4	17.8
2	酒・飲料	+36.0	10.2	食品	△10.5	10.3
3	食品	△7.5	7.9	酒・飲料	△14.6	9.0
4	外食・サービス	+28.4	7.3	医薬品	△13.1	8.2
5	医薬品	+2.8	7.0	化粧品・トイレットリー	△14.1	6.9
6	化粧品・トイレットリー	+11.8	6.4	外食・サービス	△13.7	6.9
7	金融	+52.8	5.8	自動車・輸送機器	△13.1	5.5
8	エンタテインメント・趣味	+60.6	4.4	交通・レジャー	△39.0	4.7
9	自動車・輸送機器	△8.3	4.2	金融	△23.3	4.6
10	不動産・建設	+38.9	4.1	不動産・建設	△25.7	3.6

※ 順位は金額順

メディア・コンテンツ/ 不動産・その他 (1社)

(株) TBSテレビ

メディア・コンテンツ (13社)

(株) TBSラジオ

(株) BS-TBS

(株) TBSスパークル

(株) TBSグローディア

(株) CS-TBS

(株) Seven Arcs

TCエンタテインメント (株)

TBS International, Inc.

(株) TBSメディア総合研究所

(株) 日音

(株) マンガボックス

(株) THE Factory

(株) TBSアクト

2021年4月1日に以下の会社を吸収合併

(株) 赤坂グラフィックスアート

(株) アックス

OXYBOT (株)

(株) ティ・エル・シー

(株) TBSテックス

(株) 東通

2021年10月1日より連結の範囲に追加

2022年3月31日より連結子会社化

ライフスタイル(3社)

(株) スタイルングライフ・ホールディングス

(株) CPコスメティクス

(株) ライトアップショッピングクラブ

不動産・その他(5社)

赤坂熱供給 (株)

(株) TBS企画

(株) TBSサンワーク

(株) TBSヘクサ

(株) 緑山スタジオ・シティ

持分法適用(4社)

(株) プレースホルダ

(株) プレミアム・プラットフォーム・ジャパン

(株) WOWOW

碧芯珞(上海)化粧品有限公司 / BCL China Inc.

2022年1月1日より持分法適用開始